

認知症サポーター地域活動促進事業のモデル実施について

認知症高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域社会を作るため、モデル区において、本市でこれまで養成してきた認知症サポーターと支援を必要とする認知症の人をつなぎ、認知症カフェ等での話し相手や見守り(安否確認)などの支援を実施する等、認知症サポーターの地域活動を促進します。また、認知症の人の支援に関する社会貢献活動を行う企業等を「オレンジパートナー」として登録し、地域における認知症の人の支援活動を促進します。

1 事業概要

(1) 区の認知症サポーター養成計画の作成

認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトの連絡会を統括し、区内生活関連事業者や団体等への実施計画を作成し、計画的に区の認知症サポーターを養成する。

(2) 認知症サポーターと活動の場とのマッチング

活動意欲のある認知症サポーターの活動登録を行い、認知症カフェでの傾聴のほか、認知症の人への声かけや見守りなどにより、孤立化の防止や介護家族の負担軽減など、認知症の人やその家族の地域生活を支援に繋げる。

(3) オレンジパートナー企業・団体による認知症の人の支援活動の促進

認知症の人にやさしい取り組みを行う企業等を「オレンジパートナー」として登録・周知を行い、認知症の人を支援する社会貢献活動を促進する。

2 実施方法

3区でモデル実施

3区の認知症強化型地域包括支援センター受託法人に非常勤嘱託職員を配置

3 今後のスケジュール

実施法人への業務説明 平成30年2月～3月

事業開始 平成30年4月